



愛媛
CATV
動画

私と石垣

吉田 幸稔 (いしがき守ろう会)



▲いしがき守ろう会メンバーと有志の皆さん



◀石の表面を見ながら積み上げる吉田清一会長(写真左)



▶作業の内容や進捗状況について説明する吉田幸稔さん

“心に染み入る風景をずっと守りたい”

西海地域の外泊地区には、海風による塩害や風害から家々を守るため、石垣が築かれています。住民の生活道のほか「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選定され、観光スポットとしても有名なその石垣は「いしがき守ろう会」によって維持管理されています。活動内容は「崩壊時の復旧作業や、崩壊の危険がある場合の積み直しだけでなく草刈り等を行い、景観としての維持にも取り組んでいます」と話すのは、いしがき守ろう会メンバーであり外泊区長の吉田幸稔さんです。

4月17日(水)に発生した地震では、10カ所ほどの崩壊があったそうですが、翌々日から復旧作業を開始し、取材した22日(月)は4カ所目を修復していました。

今回の地震を受けて「思ったより、被害が少なかった。これは、想像していた以上に先人たちの知恵、技術が強固であったということ」と力強く話す吉田さん。他のメンバーも「テレビ等では被害の甚大さを報道しているが、自分たちはこの程度で済んで安心している。先人たちが守ってくれたんだと思う」と笑顔を見せる姿に、築き上げられた外泊地区の歴史に対する敬意を感じました。

「後継者不足の問題はあるが、会長の吉田清一^{せいいち}さんの指導を受けながら日頃の維持管理作業をとおして、石積みの技術を皆で受け継いで次の世代につないでいきたい。自分が生まれ育った場所でもあるこの景色を、これからも地域や行政、ボランティアの方の力を借りながら守っていきたい」とひたむきに石垣に情熱を捧げる吉田さんでした。

編集後記

はじめてのおつかいのごとし、広報配り。事前に地図を見て予習していたものの、いざお届けするとお留守。この家で本当に合っているのか不安になり家の周りをうろうろ。明らかに不審者です…。運よくご近所さんが通りがかり、助けてもらいました。他には、一緒に家主を探してもらったり「私が言うのとくけんそ置いとったらええわ」などとお声掛けいただいたりして、何とか配達終了。皆さまの優しさに感謝です。 H

いつか取材に行ってみたいと思っていた「いしがき守ろう会」。地震による復旧作業を急ぎよ取材しましたが、テレビやネットを見て感じた印象とは違い、現場の活気と積み上げる技術に心強さを感じました。動画撮影も終盤に差し掛かった時に録画ボタンの押し忘れに気付いたら、崩れ落ちました。でも、さすがに吉田さん。1回目の撮影を超えるクオリティで改めてコメントを積み上げ、私のミスを修復してくれました。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和6年5月1日現在

世帯数	9,917世帯 (+21世帯)
人口	18,872人 (-6人)
男	8,958人 (+5人)
女	9,914人 (-11人)
愛南町の高齢化率	47.0%
※ () 内は前月比	
10年前 同月の人口	23,739人